

PARNASSIUS

No. 45

目 次

淡路島産甲虫類に関する文献目録(1)	高橋 壽郎	1
淡路島南部で注目される蛾 (IV)	藤 平 明	11
阿万でミヤマカラスアゲハを採集す	藤 平 明	12
2月にアミメカゲロウを採集	堀 田 久	13
津名町でラミーカミキリを採集	堀 田 久	13
オジロサナエを採集	交 告 尚 史	14

淡 路 昆 虫 研 究 会

ENTOMOLOGICAL ASSOCIATION OF AWAJI

HYOGO JAPAN

September 1997

淡路島産甲虫類に関する文献目録(1)*

高橋 壽郎¹

I. はじめに

筆者の手許にある淡路島産甲虫類に関する文献目録をまとめてみた。浅学未熟の者のうへ貧弱な文献からのものゆえ多くの貴重な文献類の脱落また誤りがあるかと思う、それ等について御教示、御指導頂ければ幸いである。

本文をまとめるのに多くの方々の御援助を頂いている。一々御芳名は記さないが此処に厚く御礼申しあげる。

また本文発表の機会を与えて下さった登日邦明氏に厚く御礼申しあげる。

II. 凡例

1. 淡路島産甲虫についての記述のある印刷物は内容、体裁にかかわらず同一に扱った。
2. 記述は著者名、発表年、表題、誌名、巻(号):頁の順に行った。単行本は書名を「」でくくり、発行所名を()に併記した。
3. 配列は発表年月日順とした。この目録はそのまま淡路島産甲虫類の研究史となる。
4. すべての文献に種名を中心とした抄録を付し、今後の基礎資料となるようにした。なお50種以上の採集目録は省略し“淡路島産甲虫目録”(近日発表予定)の中に文献名を記すことによって抄録にかえた。学名の必要のあるものは学名も入れた。
5. 学名、和名は原則として日本産昆虫総目録、1989に依拠した。
6. 淡路島としてあるが沼島、煙島の記録も含んでいる。
7. 収録は1996年迄に出版されたものとした。

III. 文献目録

1. 関 公一(1934) 大阪・神戸付近の金亀子虫。 昆虫界 2(9):308-313.
キョウトアオハナムグリ=レンツアオハナムグリ(学名は変わる)、産地として淡路洲本が示されている(採集データは無い)。
2. 山田 要(1935) オオヒョウタンゴミの産地。 関西昆虫雑誌 3(2):23.
オオヒョウタンゴミシの産地に淡路海岸なる記録が示されている。
3. 今西芳之(1938) キョウトアヲハナムグリの学名に就て。 関西昆虫雑誌 Vol.5:23-30, pl.3.
キョウトアオハナムグリ=レンツアオハナムグリの分布に淡路が示されている。
4. 植村利夫(1938) 淡路島及び鳴門公園の昆虫。 昆虫界 6(48):7-11.
淡路島で採集した甲虫としては6種が記録されている。ドウガネブイブイ、ヲジロザウムシ=オジロアシナガゾウムシ、スヂアヲゴミムシ=スジアオゴミムシ、オホヲサムシ=オオオサムシ、エンマムシ、ノコギリクワガタ、学名は訂正を要するものあり。
5. 高橋壽郎(1941) 神戸市附近の金亀子虫に就きて。 兵庫生物 9(86):217-241.
キョウトアヲハナムグリ=レンツアオハナムグリの記録地として淡路洲本を示している。
6. 関 公一(1945) 阪神地方のゲンゴロウ科(承前)。 昆虫世界 49(570):48-50.

¹ 〒652 神戸市兵庫区氷室町 1丁目44

* 兵庫県甲虫相資料・334

スヂゲンゴロウ *Hydaticus vittatus* FABRICIUS=スヂゲンゴロウ *Hydaticus satoi* WE-WALKA, 1975 淡路の記録あり。

7. 高橋壽郎 (1952) 神戸産クロコガネ属甲虫に就いて. 兵庫生物 2(1):25-26.

クロコガネ 津名郡開鏡から記録.

8. 高橋壽郎 (1952) 神戸産ハナムグリ亜科甲虫に就いて. 兵庫生物 2(2):101-103.

コアオハナムグリ 津名郡岩屋より記録.

9. 高橋壽郎 (1954) 兵庫県産糞虫類に就いて (第1報). 兵庫生物 2(4/5):232-236.

津名郡岩屋よりゴホンダイコクコガネ, オオフタホシマグソコガネ, オオマグソコガネ, マグソコガネの記録. ツヤムネマグソコガネの記録は同定間違にてマグソコガネのこと.

10. 堀田 久 (1958) 淡路島のカミキリ類. 兵庫生物 3(4):255-257.

ノコギリカミキリ, ホソカミキリ, クロカミキリ, ミドリカミキリ, アオスジカミキリ, キマダラカミキリ, ヤマカミキリ, ヒメスギカミキリ, トラフカミキリ, クロトラカミキリ, タケトラカミキリ, エグリトラカミキリ, ヨツスジトラカミキリ, ベニカミキリ, ヘリグロベニカミキリ, ヒメヒゲナガカミキリ, センノカミキリ, ゴマダラカミキリ, ヤハズカミキリ, マツノマダラカミキリ, シロスジカミキリ, クワカミキリ, カタジロゴマフカミキリ, ハイイロヤハズカミキリ, アトモンサビカミキリ, ワモンサビカミキリ, トガリシロオビナガカミキリ, キクスイモドキカミキリ, ヤツメカミキリ, シラホシカミキリ, ホソキリンゴカミキリ, ヘリグロリンゴカミキリ, キクスイカミキリの 33 種記録.

11. 高橋壽郎 (1958) 兵庫県産テントウムシ類. 兵庫生物 3(4):258-264.

ナナホシテントウ 津名郡開鏡, テントウムシ 津名郡岩屋の記録.

12. 高橋壽郎 (1959) 兵庫県のコガネムシ類. 兵庫生物 3(5):365-375.

津名郡開鏡で採集したクロコガネ, マルオクロコガネ, ヒメハナムグリ=ヒメアシナガコガネの 3 種を記録.

13. 堀田 久 (1959) 淡路島産甲虫類目録 (2). 兵庫生物 3(5):376-378.

24 科 87 種が記録されている.

14. 高橋壽郎 (1960) 兵庫県産タマムシ類. 兵庫生物 4(1):20-23.

タマムシ (三熊山), ウバタマムシ (洲本市安乎町, 三熊山), クロタマムシ (洲本市安乎町), クロナガタマムシ (洲本市安乎町) の 4 種を記録.

15. 高橋壽郎 (1961) 兵庫県のカミキリムシ類 (第1報). 兵庫生物 4(2):88-96.

ホソカミキリ, キマダラカミキリ (洲本市先山), クロカミキリ, アオスジカミキリ, ヤマカミキリ, ミドリカミキリ, ヒメスギカミキリ, トラフカミキリ, タケトラカミキリ, クロトラカミキリ, エグリトラカミキリ, ヨツスジトラカミキリ, ベニカミキリ (洲本市安乎町), ヘリグロベニカミキリ (津名郡岩屋) の 14 種記録.

16. 高橋壽郎 (1961) 兵庫県産テントウムシ類 (第2報). 兵庫生物 4(2):96, 108-109.

ナナホシテントウ, テントウムシ, ヒメカメノコテントウ 洲本市安乎町から記録.

17. 中條道夫・高橋壽郎 (1961) 兵庫県産ゾウムシ類. Mikado 1(2):17-26.

淡路島産アカハラヒメオトシブミ=ヒメクロオトシブミ, オジロアシナガゾウムシ, イチゴハナゾウムシ 3 種記録.

18. 岸井 尚 (1963) 高橋壽郎氏蒐集の兵庫県産叩頭虫類. あきつ 11(1):9-13.

津名郡岩屋産コクロクシコメツキの記録あり。

19. 高橋壽郎 (1964) 兵庫県のカミキリムシ類 (第2報). 兵庫生物 4(5):248-253.
マツノマダラカミキリ, ゴマダラカミキリ, ヤハズカミキリ, クワカミキリ, ワモンサビカミキリ, トカリシロオビサビカミキリ, アトモンサビカミキリ, キクスイモドキカミキリ, ホソキリンゴカミキリ, キクスイカミキリ (洲本市安乎町), カタジロゴマフカミキリ, シラホシカミキリ, ヤツメカミキリ (洲本市先山), ヘリグロリンゴカミキリ (洲本市三熊山・常隆寺山) の記録.
20. 水野辰司 (1964) 日本産センチコガネ類の地理的変異. 遺伝 18(9):24-27, pl.1.
センチコガネの淡路島産のものは淡路島集団として区別される.
21. 高橋壽郎 (1965) 兵庫県のクワガタムシ. 兵庫生物 5(1):38-46.
ノコギリクワガタ, ヒラタクワガタ (津名郡志筑), スジクワガタ, ネブトクワガタ (洲本市先山) からの記録.
22. 佐藤正孝・玉井滋人 (1966) 淡路島のオサムシ2種. 佳香蝶 18(69):161-162.
オオオサムシ, ヤコンオサムシの記録.
23. 高橋壽郎 (1967) 兵庫県のコガネムシ. 兵庫生物 5(3):252-260.
センチコガネ津名郡岩屋, 洲本市先山の記録.
24. 大野正男 (1967) 日本産ハムシ科研究の手引き (1). 昆虫と自然 2(3):14-18.
キバラクビボソハムシ, キオビクビボソハムシ, カワリクビボソハムシ淡路島からはじめての記録.
25. 大野正男 (1967) 日本産ハムシ科研究の手引き (3). 昆虫と自然 2(5):25-28.
ヤマイモクビナガハムシ (淡路新記録種), アカツヤクビナガハムシの淡路島からの初記録.
26. OHNO, M. (1968) A Revision of Longitarsus-species occurring in Japan (Coleoptera, Chrysomelidae, Alticinae). Jour. Toyo Univ. Nat. Sci. (9):1-56.
Longitarsus boraginicollis OHNO ムラサキアシナガトビハムシ Paratype の中に 1♂, Aiya Awaji Is., Hyogo, Japan 5.V.1966. M. OHNO lgt. の記録がある.
27. 高橋壽郎 (1968) 兵庫県のハムシ (II). 兵庫生物 5(5):405-414.
キバラツユクサハムシ, ヨモギハムシ津名郡岩屋, バラツツハムシ, クロボシツツハムシ津名郡開鏡から記録.
28. 三浦照章 (1968) 淡路のクワガタ数題. PARNASSIUS (5/6):3-4.
ノコギリクワガタ, ヒラタクワガタ, コクワガタの記録.
29. 大野正男 (1969) 淡路島のハムシ相 (1). 兵庫生物 6(1):11-15.
淡路島より 70 種のハムシ (他に種名未同定 1 種を含む) の記録.
30. 高橋壽郎 (1969) 兵庫県のハムシ (III). 兵庫生物 6(1):37-39.
ヤナギハムシ (淡路島), フジハムシ (津名郡開鏡) の記録.
31. 長尾 悟 (1969) 淡路島のチャイロヒメカミキリ. 昆虫と自然 4(5):8.
淡路島南部海岸燈火に飛来のチャイロヒメカミキリ採集の記録.
32. 桂 孝次郎 (1969) 淡路島未記録のヒメオサムシ. Osamushi 4(3):1.
33. 高橋壽郎 (1970) 兵庫県のハムシ (IV). 兵庫生物 6(2):143-147.
ハンノキハムシ, ウリハムシ, クロウリハムシ, ルリヒメハムシ, イタドリハムシ津名

郡岩屋より記録。カワリヒゲナガハムシ、ウリハムシ、クロウリハムシ、ルリヒメハムシ、クワハムシ、イチゴハムシ、イタドリハムシ、ケブカヒゲナガハムシ、アトボシハムシ、フタスジヒメハムシ、サンゴジュハムシ、ニレハムシ、サクラケブカハムシ淡路島から記録(大野正男, 1969 の記録引用)。

34. 大野正男 (1970) 淡路島のハムシ相 (2). 兵庫生物 6(2):150-152.

淡路島ハムシ相の特色として構成要素別ハムシ相の特色と色彩的多型種の分布から見た特色について検討されたことを示されている。淡路島のハムシ相は日本列島に広く分布するもの、あるいは北海道には分布しないながらも本州、四国、九州にまたがって分布するものであり寒地性のものより暖地性ないし西日本産の勢力がめだつとされている。

35. 水沼哲郎 (1970) 淡路島でヒメコブヤハズカミキリを採集。甲虫ニュース (10):3-4.

36. 小宮次郎 (1970) オサムシ属 (*Apotompterus*) の分類. *Insect Magazine* (76):22-64.

淡路島産オオオサムシはかなり特異な一群を形成しているようだと説明がある。

37. 小宮次郎 (1970) 近畿地方オサムシ調査報告. *Insect Magazine* (76):160-162.

淡路島よりオオオサムシ、ヤコンオサムシ、ヒメオサムシ、マイマイカブリの記録。

38. 石田正明 (1970) 甲虫とりある記 (5). 昆虫と自然 5(7):10-14.

沼島のヨドシロヘリハンミョウについての解説あり。

39. 桂 孝次郎 (1971) 淡路島・小豆島のオサムシについて (中間報告). 追手門学院大学生物学会研究会々報 (4):1-5.

淡路島よりヒメオサ、ヤコンオサ、マイマイカブリの記録。

40. 日浦 勇・桂 孝次郎・谷 幸三・春沢孝太郎・富永 修 (1971) 近畿地方におけるオサムシの地方的分布 (予報). 大阪市立自然史博物館研究報告 (25):27-42.

淡路島よりヒメオサムシ、ヤコンオサムシ、オオオサムシ、マイマイカブリの記録。

41. 堀田 久 (1971) 淡路島のカミキリムシ. *PARNASSIUS* (8):1-5.

ノコギリカミキリ、ホソカミキリ、ツヤケシハナカミキリ、ヤツボシハナカミキリ、クロカミキリ、アオスジカミキリ、ミヤマカミキリ、キマダラヤマカミキリ、ヨツボシカミキリ、アメイロカミキリ、ミドリカミキリ、ヒメスギカミキリ、トラフカミキリ、タケトラカミキリ、エグリトラカミキリ、クロトラカミキリ、ヨツスジトラカミキリ、ベニカミキリ、ヘリグロベニカミキリ、ナガゴマフカミキリ、カタシロゴマフカミキリ、キクスイモドキカミキリ、ハイイロヤハズカミキリ、トガリシロオビカミキリ、アトモンサビカミキリ、ワモンサビカミキリ、ゴマダラカミキリ、ホシベニカミキリ、ヤハズカミキリ、チャボヒゲナガカミキリ、マツノマダラカミキリ、ヒメナガカミキリ、センノカミキリ、ニセビロウドカミキリ、シロスジカミキリ、クワカミキリ、タカサゴシロカミキリ、ヤツメカミキリ、シラホシカミキリ、ヘリグロリンゴカミキリ、リンゴカミキリ、ホソキリンゴカミキリ、キクスイカミキリ、ルリカミキリ、ウスバカミキリの 45 種の記録。

42. 辻 啓介 (1972) 兵庫県のカミキリムシ. 月刊むし (10):16-22.

淡路島には 34 種のカミキリムシを産するとして和名を記しておられるがこれらは堀田久 (1958) の記録の引用である。

43. 高橋壽郎 (1972) 兵庫県のハムシ (V). 兵庫生物 6(3):238-243.

淡路島産としてコカミナリハムシ、タイワンツブノミハムシ、ツブノミハムシ、フタイ

ロセマルトビハムシ、キバネマルノミハムシ、サシゲトビハムシ、ネズミモチアシナガトビハムシ、ムラサキアシナガトビハムシ、オオバコアシナガトビハムシ、ハッカハムシ、ナガトビハムシ、キアシノミハムシ、セマルトビハムシ、ウスグロチビカミナリハムシ、キスジトビハムシ、クビボソトビハムシ、ヒメルリナガスネトビハムシ、カタクリハムシ、ベリーヒメマルトビハムシ、アケビタマノミハムシ、ボタンヅルタマノミハムシ、ガマズミトビハムシ、シリダコチビカミナリハムシの22種の記録(大野正男,1968,1969からの引用)、筆者採集としてチャバネツヤハムシ津名郡岩屋と以上のハムシの記録。

44. 登日邦明(1973) 常隆寺山でスジマダラモモトカミキリを採集。PARNASSIUS(9):2.

45. 堀田 久(1973) 淡路島のクワガタムシ。PARNASSIUS(10):5-6.

ミヤマクワガタ、ノコギリクワガタ、ヒラタクワガタ、コクワガタ、スジクワガタ、ネブトクワガタの記録。

46. 堀田 久(1973) 淡路島のカミキリムシ追加(1)。PARNASSIUS(10):6-7.

ニセノコギリカミキリ、トゲヒゲヒメカミキリ、チャイコヒメカミキリ、ヒメコブヤハズカミキリ、ヒゲナガモモトカミキリの5種の記録。

47. 堀田 満(1973) 淡路島でオオヒョウタンゴミムシを採集。PARNASSIUS(10):7.

三原郡南淡町阿万吹上ノ浜教育キャンプ場、夜間テント付近の砂上を歩いていた。

48. 堀田 久(1973) 洲本市でヒメヒラタタマムシ。PARNASSIUS(10):7.

49. 辻 啓介(1973) 淡路島のタマムシ2種。PARNASSIUS(11):2.

マルガタチビタマムシ、クズノチビタマムシ2種の記録。

50. 兵庫県自然保護協会調査部(奥谷禎一)(1973) 兵庫県下ホテルの現況。兵庫県の自然3(1):2-8.

三原川の支流の成相川に多い(ゲンジボタル但し今回のものは滋賀県からの移入ものであると)。緑町広田、小河川、前田川には多いとの報告。五色町松帆、西淡町津二、同町阿那賀、南淡町阿万東町などはヘイケボタルではないかと。

51. 久松定成・伊藤 研・宮武睦夫・酒井雅博・古木芳枝(1973) 本四架橋ルートの島々の昆虫目(甲虫目)。本州四国連絡橋に伴う周辺地域の自然環境保全のための調査報告書 学術調査編。(動物部門)(国立公園協会刊):176-193.

淡路島から46科164種の甲虫が記録されている。

52. 高橋壽郎(1973) 兵庫県のハムシ(VI)。兵庫生物6(4):296-298.

淡路島産セモンカメノコハムシ、セダカカメノコハムシ、イチモンジカメノコハムシの記録。

53. 京浜昆虫同好会編(1973) 「新しい昆虫採集案内(III)」(内田老鶴圃新社・東京)

淡路島にヒメコブヤハズカミキリ、オオオサムシ、ヒメオサムシが分布の記録がある。

54. 堀田 久(1974) 洲本市でミヤマクロハナカミキリを採集。

洲本市安乎町にて。

55. 堀田 久(1974) 淡路島でコカブトムシを採集。PARNASSIUS(12):14.

洲本市安乎町2♂。

56. 奥谷禎一(1974) 兵庫県の動物界の現状(続)(I) 兵庫県の昆虫類。兵庫県の自然の現状II:49-67。(兵庫県生活部自然課)

三原川支流に成相でゲンジボタル多産の報告あるもダム構築後の激減により放飼されたものである。

57. 林 長閑 (1974) ヒゲナガハナノミの生態. 昆虫と自然 9(8):20.

津名郡の日葉畑で得られた幼虫を飼育した結果による生態記録.

58. 大野正男・鈴木富士子 (1974) キイロナガツツハムシの分布. 昆虫と自然 9(12):20.

淡路島での産の記録あり.

59. 堀田 久 (1974) 淡路島産コガネムシ類. PARNASSIUS (13):1-3.

ゴホンダイコクコガネ, カドマルエンマコガネ, マエカドコエンマコガネ, アシナガコガネ, マルガタビロウドコガネ, カバイロビロウドコガネ, ホソスジチャイロコガネ, クロコガネ, クリイロコガネ, ナガチャコガネ, オオコフキコガネ, コフキコガネ, カブトムシ, コカブトムシ, マメコガネ, コイチャコガネ, コガネムシ, ヒメスジコガネ, スジコガネ, オオスジコガネ, アオドウガネ, ドウガネブイブイ, ヒメコガネ, サクラコガネ, セマダラコガネ, ウスチャコガネ, ヒラタハナムグリ, カナブン, アオカナブン, アオハナムグリ, コアオハナムグリの 31 種記録.

60. 堀田 久 (1974) 淡路島のカミキリムシ追加 (II). PARNASSIUS (13):4.

クロハナカミキリ, ホタルカミキリ, ビロウドカミキリ, ニセシラホシカミキリの記録.

61. 登日邦明 (1974) チビクワガタの採集例. PARNASSIUS (13):8.

三熊山での記録.

62. 堀田 久 (1974) 淡路島でコカブトムシを採集. 淡路島でゴホンダイコクを採集.

昆虫と自然 9(14):1.

63. 久松定成・宮武睦夫・酒井雅博・古木芳枝・伊藤 研 (1974) 本四架橋ルートの島々の昆虫相・甲虫目 (その 2). 本州四国連絡架橋に伴う周辺地域の自然環境保全のための調査報告書 (その 2). 学術調査編・動物部門:84-92(国立公園協会刊)

淡路島から甲虫類 30 科 93 種の記録.

64. 高橋壽郎 (1975) 淡路島産のコガネムシ類について. PARNASSIUS (14):1-3.

マメダルマコガネ, ゴホンダイコクコガネ, クロマルエンマコガネ, コブマルエンマコガネ, カドマルエンマコガネ, マルエンマコガネ, オオフタホシマグソコガネ, オオマグソコガネ, セマルオオマグソコガネ, マグソコガネ, ヒメアシナガコガネ, クリイロビロウドコガネ, コガタビロウドコガネ, ナヘドコチャイロコガネ, クロコガネ, マルオクロコガネ, ウスチャコガネ, カタモンコガネ, アオドウガネ, ドウガネブイブイ, ヒメコガネ, キョウトアオハナムグリ, コアオハナムグリ, ヒメハナムグリの 24 種記録.

65. 奥谷禎一 (1975) 吹上浜の甲虫 2 種. PARNASSIUS (14):6.

吹上浜でオオヒョウタンゴミムシとシロスジコガネの死体を採集の記録.

66. SAKAI. M. (1975) The Xyletininae of Japan(Coleoptera:Anobiidae). Trans. Shikoku Ent. Soc. 12(3/4):95-110.

日本産シバンムシ科の Xyletininae の亜科についての総説である. 淡路島産 *Xyletinus japonica* PIC の記録あり.

67. 登日邦明 (1975) 淡路島産の昆虫類について. 兵庫県の自然 5(1):11-13.

甲虫類ではオオヒョウタンゴミムシ, マメダルマコガネ, セマルオオマグソコガネ, ヒ

メハナムグリについての解説あり。

68. 堀田 久 (1975) 淡路島のゾウムシ類について. PARNASSIUS (15):1-4.

ルリイクビチョッキリ, ファウストハマキチョッキリ, ハイイロチョッキリ, モモチョッキリ, アシナガオトシブミ, カシルリオトシブミ, ヒメコブオトシブミ, ヒメクロオトシブミ, ウスアオクチブトゾウムシ, クリイロクチブトゾウムシ, シロコブゾウムシ, ハイイロヒョウタンゾウムシ, クロキボシゾウムシ, ハコベタコゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, ゴボウゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, キスジアシナガゾウムシ, マツアナアキゾウムシ, クスアナアキゾウムシ, フライアナアキゾウムシ, ツツジトゲムネサルゾウムシ, キイチゴトゲサルゾウムシ, ダイコンサルゾウムシ, イチゴハナゾウムシ, マツシラホシゾウムシ, クリシギゾウムシ, ツバキシギゾウムシ, イネゾウムシ, オオゾウムシ, トホシオサゾウムシ, コクゾウムシの 33 種記録。

69. 堀田 久 (1975) 淡路島のカミキリムシ追加 (III). PARNASSIUS (15):4.

ムナクボカミキリ, ケシカミキリ, カッコウメダカカミキリ, クスベニカミキリ, アトジロサビカミキリの記録。

70. 黒沢良彦 (1975) 日本産タマムシ科概説 (15). 甲虫ニュース (31/32):1-4.

久松定成博士が淡路島から *Endelus japonicus* と記録した種 (1973) は *Endelus sp.* アカガネエグリタマムシ (この時点では正式記載は無い) であろうとの記がある。アカガネエグリタマムシはその後黒沢良彦博士により学名が与えられた。即ち *Endelus pyrrosiae* Y.KUROSAWA, 1985.

71. 高桑正敏 (1976) 日本のコブヤハズ類の問題点 (3). 月刊むし (62):17-22.

ヒメコブヤハズカミキリ先山の記録が含まれている。

72. 高橋壽郎 (1976) 淡路島の甲虫相. PARNASSIUS (16):3-9.

淡路島産の甲虫類としてはこの時点でわかっている産出種は 60 科 447 種であるとして各科別の産出種数と注目すべき種について解説をつけた。

73. 堀田 久 (1976) 先山の昆虫相 (I). PARNASSIUS (16):11-32.

先山産甲虫として 30 科 171 種が記録されている。

74. 堀田 久 (1977) 淡路島のシデムシ類について. PARNASSIUS (17):2-3.

クロシデムシ, マエモンシデムシ, ヨツボシモンシデムシ, ヒロオビモンシデムシ, オオモモブトシデムシ, モモブトシデムシ, ベッコウヒラタシデムシの 7 種記録。

75. 堀田 久 (1977) 淡路島のカミキリムシ追加 (IV). PARNASSIUS (17):4.

クワサヒカミキリ, セミスジコブヒゲカミキリ, シラオビゴマフケシカミキリの 3 種記録。

76. 広地 昇・奈良隆史・木戸和伸 (1977) 三熊山の昆虫について. PARNASSIUS (17):5-28.

甲虫類 (p.18-23) は 29 科 76 種記録されている。

77. 堀田 久 (1977) 淡路島でアカマダラコガネを採集. 昆虫と自然 12(13):16.

アカマダラハナムグリ洲本市物部。

78. 岡田清隆・登田邦明 (1977) 三熊山における松くい虫防除のための空中散布による死亡こん虫類調査報告書 B5.3p. (兵庫生物学会淡路支部刊)

甲虫類ではゾウムシ (マダラヒメゾウムシ後出, 岡田清隆, 1981). マツノマダラカミキ

リはみなかった。

79. 堀田 久 (1978) 淡路島産甲虫類採集記録. PARNASSIUS (18):4-16.

甲虫類は 25 科 69 種が記録されている。

80. 堀田 久 (1978) 先山でチャイロヒメカミキリ PARNASSIUS (18):17.

81. 登日邦明 (1978) アカマダラコガネ三熊山に産す. PARNASSIUS (18):17.

82. 金田昌士 (1978) 先山で採集したカミキリ. Insect(淡路昆虫研究会) (19):4.

ホタルカミキリ, ナガゴマフカミキリ, トガリシロオビサビカミキリ, クワサビカミキリ, ヒメコブヤハズカミキリ, ゴマダラカミキリ, ヤハズカミキリ, チャボヒゲナガカミキリ, マツノマダラカミキリ, センノカミキリ, ナカバヤシモモブトカミキリ, シラホシカミキリ, ニセシラホシカミキリの 12 種が記録されている。

83. 高橋壽郎 (1978) キョウトアオハナムグリの分布について. 兵庫生物 7(4):194-197.

キョウトアオハナムグリ=レンツアオハナムグリ洲本市を分布地に記録。

84. MIYATAKE, M. (1978) The Genus *Telsimia* Casey of Japan and Taiwan (Coleoptera: Coccinellidae). Trans. Shikoku Ent. Soc. 14(1/2):13-19.

Telsimia nigra (WEISE, 1879) クロテントウ Awajishima の分布記録あり。

85. 堀田 久 (1978) 淡路島産昆虫採集記録 (II). PARNASSIUS (19):10-14.

甲虫類 20 科 44 種記録されている。

86. 金田昌士 (1978) 材採集により得られたカミキリムシ. PARNASSIUS (19):15.

ヨコヤマヒメカミキリ, ズマルトラカミキリ, トゲヒゲトラカミキリ, ヒメクロトラカミキリ, ヒメアカモンサビカミキリ, タテジマカミキリの記録。

87. 金田昌士 (1978) 淡路島より未記録のカミキリ 3 種. PARNASSIUS (19):15.

フタオビノミハナカミキリ, キイロミヤマカミキリ, ヒシカミキリの記録。

88. 堀田 久 (1978) 淡路島のカミキリムシ追加 (V). PARNASSIUS (19):19.

ヨコヤマヒメカミキリ, ヒメナガサビカミキリ, ニセリングカミキリの記録。

89. 登日邦明 (1978) 淡路島の昆虫とその現状. 鳥と自然 (兵庫野鳥の会) (8):10-12.

吹上浜のオオヒョウタンゴミムシの記録がある。

90. 登日邦明 (1978) 淡路島未記録のカミキリムシ 2 種. 昆虫と自然 13(13):16.

ベーツヒラタカミキリ, マルクビヒラタカミキリの記録。

91. 高橋壽郎 (1979) 兵庫県におけるオサムシの分布. 兵庫生物 7(5):247-248.

オオオサムシ洲本市先山, 三原郡鮎屋, 論鶴羽山, 竹原ダム上~柏原山の記録。

92. 高橋壽郎 (1979) 淡路島のヒメオサムシ. PARNASSIUS (20):1-4.

淡路島のヒメオサムシ=アワジヒメオサムシの解説。

93. 高橋壽郎 (1979) 淡路島のセンチコガネ. PARNASSIUS (20):5-9.

淡路島の産地と淡路島産センチコガネが多少特色ある集団を呈していることの解説。

94. 登日邦明 (1979) ヒメコブヤハズカミキリの新産地. PARNASSIUS (20):18.

洲本市鮎屋ダム上流。

95. 川瀬恵二 (1979) 淡路島中, 南部のオサムシ 3 種の採集記録. PARNASSIUS (20):20-21.

オオオサムシ, ヤコンオサムシ, マイマイカブリの記録。

96. 堀田 久 (1979) 淡路島産ソウムシ類について (II). PARNASSIUS (20):22-23.

ヒメクロオトシブミ, リンゴコフキゾウムシ, ケブカクチブトゾウムシ, カシワクチブトゾウムシ, マツトビゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, モンクチカクシゾウムシ, マツアナアキゾウムシ, ツツゾウムシ, ツバキシギゾウムシ, モンキシギゾウムシ, シロフチビキシギゾウムシ, イボタロウヒゲナガゾウムシ.

97. 近畿オサムシ研究グループ (1979) 「近畿地方のオサムシ大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第 II 集」 B5.83p.

オオオサムシ, ヤコンオサムシ, ヒメオサムシ, マイマイカブリ 4 種淡路島各地からの記録.

98. 登日邦明編 (1979) 「三熊山の自然第 1 集」 (淡路自然研究保護連合会).

甲虫科, ソウムシ, アマミカミキリ, タマムシ解説.

99. 堀田 久 (1979) 淡路島のコガネムシ類 (II). PARNASSIUS (21):1-2.

コブマルエンマコガネ, カドマルエンマコガネ, フチケマグソコガネ, コカブトムシ, ヒメアシナガコガネ, アカビロウドコガネ, カバイロビロウドコガネ, コイチャコガネ, アオドウガネ, ヒメカンシヨコガネ, キスジコガネ, アオハナムグリ, コアオハナムグリ, ヒラタハナムグリ 14 種の記録.

100. 堀田 久 (1979) 淡路島のカミキリムシ追加 (VI). PARNASSIUS (21):3-5.

ノコギリカミキリ, ツヤケシ・ナカミキリ, ヤツボシハナカミキリ, クロカミキリ, ムナクサカミキリ, ミヤマカミキリ, キマダラヤマカミキリ, アメイロカミキリ, クスベニカミキリ, ヒメスギカミキリ, ヨツボシトラカミキリ, ヘリグロベニカミキリ, カタシロゴマフカミキリ, ナガゴマフカミキリ, キクスイモドキカミキリ, ハイイロヤハズカミキリ, トガリシロオビサビカミキリ, ワモンサビカミキリ, センノカミキリ, ニセビロウドカミキリ, クワカミキリ, タカサゴシロカミキリ, ヒゲナガモモブトカミキリ, ヘリグロリンコカミキリ, リンゴカミキリ, ホソキリ・ゴカミキリ, ルリカミキリの 27 種記録.

101. 高橋壽郎 (1979) ラミーカミキリ淡路島に産す. PARNASSIUS (21):6.

津名郡北淡町轟木にて.

102. 金田昌士 (1979) コジマヒゲナガコバネカミキリ *Molorchus kojimai* 三熊山に産す.

PARNASSIUS (21):6.

103. 登日邦明 (1979) エゾカタビロオサムシの採集例. PARNASSIUS (21):7.

三原郡西淡町松帆, 洲本市宇原, 常隆寺山中腹にて採集.

104. 堀田 久 (1979) ミニサイズのカブトムシ. Insect (22):3.

洲本市中川原町産.

105. 穂積俊文 (1979) 都道府県別カミキリムシ科目録要覧 (II). 昆虫と自然 14(13):15-20.

日本の島嶼のカミキリムシ調査報告をまとめたもの. 淡路島のものが含まれている.

106. 鈴木邦雄・櫻井一彦 (1979) 兵庫県淡路島におけるヨモギハムシ二色彩型の地理的分布. New Entomol. 28(3/4):78-80.

淡路島ではアオグロ型が非常に多く, 中央構造線の北側におけるアオグロ型の優勢という瀬戸内沿岸地帯と同様の傾向を示す.

107. 登日邦明 (1980) エゾカタビロオサムシの採集例 (追加). PARNASSIUS (22):4.

洲本市山武牧場にて採集.

108. 堀田 久 (1980) コカブトムシの採集例. PARNASSIUS (22):7.

洲本市安平町安平中学校庭にて.

109. 堀田 久 (1980) アカマダラコガネ一宮町に産す. PARNASSIUS (22):7.

津名郡一宮町江井にて採集.

110. 高橋壽郎 (1980) 兵庫県におけるオサムシの分布 (2). 兵庫生物 8(1):27-39.

淡路島の産地をオオオサムシ, ヤコンオサムシ, アキオサムシについて記録.

111. 高橋壽郎 (1980) 県下の注目すべき甲虫. 鳥と自然 (16):8-14.

オオヒョウタンゴミムシ吹上浜の記録.

112. 登日邦明編 (1980) 「諭鶴羽山の自然」(南淡町教育委員会刊. B5,84p.).

甲虫としてゴホンダイコクコガネとホシベニカミキリの記録あり,

113. 高橋壽郎 (1980) 兵庫県におけるマダラテントウ類の分布について. きべりはむし 8(1):9-11.

ニジュウヤホシテントウ, オオニジュウヤホシテントウの淡路島からの記録.

114. 環境庁 (1980) 「日本の重要な昆虫類 近畿版. B5. 624p.」

ヨドシロヘリハンミョウ (沼島), アキオサムシ=アワジヒメオサムシ, オオヒョウタンゴミムシ, キョウトアオハナムグリ=レンツアオハナムグリの 4 種淡路島での記録.

115. 金田昌士 (1980) 淡路島未記録のカミキリ 8 種. PARNASSIUS (23):9.

シロオビゴマフカミキリ, シロスジドウボンカミキリ, ドウボンカミキリ, ナカジロサビカミキリ, シロオビチビカミキリ, アトモンマルケシカミキリ, クモガタケシカミキリ, ヒメナガヒメルリカミキリ 8 種の記録.

116. 登日邦明 (1980) トサヒラズゲンセイ淡路島に産す. PARNASSIUS (23):9.

洲本市金屋にて 1♀.

117. 登日邦明 (1980) 三熊山の自然の価値を考える. 淡路の文化 2(1):33-36.

昆虫相ならびにチビクワガタの記録あり.

118. MAKIHARA, H. (1980) Cerambycidae of the Danjo Islands, with descriptions of two new species and six new subspecies (Coleoptera). ESAKIA (15):49-73.

ヨツスジトラカミキリ, ワモンサビカミキリ共に Awajishima Is. の分布記録あり.

119. 白水 隆 (1980) 対馬昆虫相の概観. 月刊むし (117):3-12.

アオヒメハナムグリ淡路島の分布記録あり.

120. 高橋壽郎 (1980) ヒゲコガネとシロスジコガネ. きべりはむし 8(2):8-17.

シロスジコガネ吹上浜の記録.

121. 高橋壽郎 (1980) 兵庫県における Olenecamptus 属カミキリ 3 種の分布について.

てんとうむし (6):1-4.

タカサゴシロカミキリ淡路島の記録あり (津名郡津名町大町, 三原郡諭鶴羽山, 洲本市下加茂, 先山).

(I・1997)

(たかはし としお)

淡路島南部で注目される蛾 (IV)

藤 平 明²

〔南方系の蛾〕(前号の続き)

14. クロモンオエダシャク *Semiothisa temeraria* Swinhoe
Aug. 13. 1961, Apr. 29. 1986, May. 12. 1991 南淡町阿万上町 灯火飛来
開張 約 20~30mm. 本州 (紀伊半島), 四国, 九州, 対馬, 種子島, 屋久島, 奄美大島, 沖縄本島, 以南に分布.
15. ヤクシマドクガ *Orgyia triangularis* Nomura
Aug. 16. 1995 南淡町灘大川 灯火飛来
開張 約 26mm. 本州 (東海地方以西), 四国, 九州, 対馬, 屋久島~沖縄本島, 伊豆諸島の神津島でもとれている.
16. コマフオオホソバ *Agrisus fuliginosus* Moore
May. 21. 1961, Jul. 16. 1973, May. 28. 1983, May. 24. 1989 南淡町阿万上町
開張 約 44~48mm. 日本, 朝鮮, 中国に分布. 本州では近畿以西に多いが宮城県遠刈田からの記録もある. 四国北半に多く, 九州にも分布している. 分布が局限され, 最近減少している. 昼間活動し, 静止している木の下を通るとヒラヒラと落下する. 最近各地とも記録がなく, 淡路島では絶滅したのではないと思われる.
17. ベニゴマダラヒトリ *Utetheisa pulchelloides* Hampson
Jun. 25. 1991 南淡町阿万上町 灯火飛来
開張 約 33mm. 本州 (関東以西) から琉球列島に至る各地でしばしば採集されるが, 日本には永続的に土着していないと思われる.
18. モンシロモドキ *Nyctemera adversata* Schaller
Nov. 7. 1989, Oct. 29. 1990, Nov. 6. 1990 南淡町阿万上町 Oct. 5. 1994 南淡町灘大川
開張 約 45~48mm. 本州 (伊豆半島以西), 四国, 九州, 対馬, 屋久島~関東地方の北部でも迷蛾としてとられることがあるという. 論鶴羽山麓一帯で記録がある.
19. チビウスキヨトウ *Acrapex azumai* Sugi
Jun. 4. 1987, Aug. 27. 1991 南淡町阿万上町 灯火飛来
開張 約 19~24mm. 四国 (香川県, 高知県), 九州 (福岡県, 鹿児島県) の沿岸部, 対馬, 屋久島~北九州では5~8月に採集されている.
20. オオホシミミヨトウ *Platysenta illecta* Walker
Nov. 25. 1986 南淡町阿万上町
開張 約 30mm. 琉球列島 (4月~) から屋久島 (8~9月) にかけてごく普通に産するが屋久島については土着は疑問. 本土での記録は全て9, 10月以降である. 近辺では和歌山, 大阪から報告がある.
21. リュウキュウクルマコヤガ *Oruza obliquaria* Marumo
Aug. 8. 1960 南淡町阿万上町
開張 約 22mm. 紀伊半島南岸, 四国, 対馬, 屋久島~沖縄, 西表島に分布.
22. ツキワクチバ *Artena dotata* Fabricius
Aug. 3. 1995 南淡町福良甲 B & G グランド 灯火飛来
開張 約 58mm. 宮城県下を最北として, 四国, 九州, 対馬, 屋久島に記録がある. 定着の範囲はよくわかっていない.

23. ソトハガタアツバ *Olulis punsticinctalis* Walker
 May. 7. 1994. Aug. 31. 1994 南淡町灘大川
 開張 約 22~27mm. 和歌山県, 高知県, 九州本土, 屋久島, 沖縄本島などから記録がある。
24. ナンキシマアツバ *Hepatica nakatanii* Sugi
 Apr. 22. 1985 南淡町阿万上町 Sep. 20. 1995 南淡町灘大川
 開張 約 24~28mm. 南系の種として, 東海地方から本土の南岸に分布し, 九州の離島からも見出される。大阪府, 京都府からも報告がある。国外からは未知。
25. ヒメエビロアツバ *Maguda suffusa* Walker
 Aug. 16. 1995 南淡町灘大川 灯火飛来
 開張 約 17mm. 伊豆半島を北限とし, 本土南岸に分布するものと思われ, 四国, 九州, 屋久島, 石垣島から見出されている。
26. メスグロヒメアツバ *Schrankia dimorpha* Inoue
 Apr. 16. 1968 南淡町阿万上町 灯火飛来
 開張 約 20mm. 本州中部以西の温暖地に分布するものと思われ, 三重県, 香川県, 屋久島, 伊豆諸島の八丈島などから産出している。
27. マルバネウスグロアツバ *Hydrillodes pacifica* Owada
 Apr. 25. 1994 南淡町賀集 大日ダム湖底部北岸
 開張 約 15mm. 淡路島, 室戸市, 北九州市八幡, 奄美大島, 沖縄など産地は限られており, 採集された個体数も少ない。
28. シロナミズメイガ *Parthenodes prodigalis* Leech
 Jul. 14. 1994 南淡町灘大川 灯火飛来
 開張 約 17mm. 福井県敦賀市からの記録はあるが, 徳之島, 奄美大島などが産地の南方系。国外では朝鮮, 台湾からも知られている。

〔追記〕(日本で珍しい蛾)

1. キマエコノハ *Eudocima salaminia* Fabricius
 Des. 1. 1978 南淡町阿万 灯火飛来
 開張 約 90mm. 近畿以西の本土域と対馬, 屋久島などで多く記録されており, 南方系の種であるが北海道からも報告がある。産出は散発的であり真に定着している否か分からない。
 本個体は阿万小学校の二階のベランダで死体を拾ったものである。校舎端の水銀灯に飛来したものであろうか。
2. クロスジユミモンクチバ *Melapia japonica* Ogata
 Sep. 1960 南淡町阿万 Jun. 17. 1961 南淡町阿万上町 灯火飛来
 開張 30~37mm. 日本特産種。西南部の海岸線, 島嶼部に分布。ただし紀伊半島からは未知。淡路島では上記以外に洲本市中津川, 論鶴羽山から記録されているが, 最近記録がなく絶滅が心配されている。

〔後書き〕

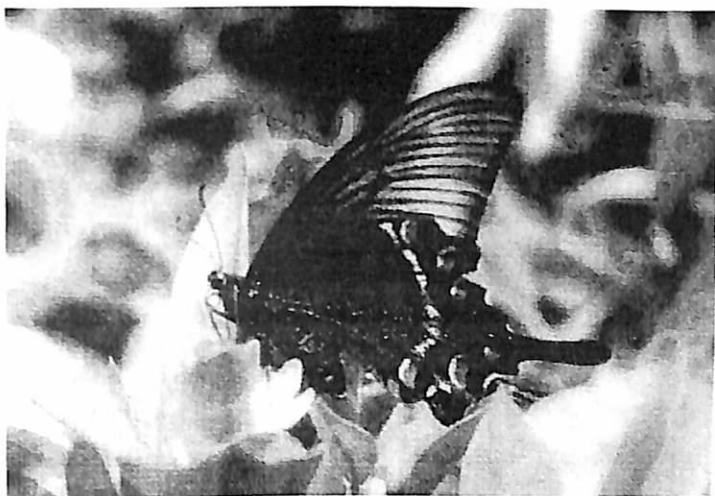
図鑑類では分布地として太平洋沿岸等という表現がよく使用されるが, 一般的には淡路島のデータが含まれていないことが多いように思う。こうした現状の中で, 今回の発表が淡路島南部というある程度特殊な位置に於ける記録として, 既知の分布地の空白を埋めることができたのではないと思う。

(ふじひら あきら)

阿万でミヤマカラスアゲハを採集す

藤 平 明²

1997年5月11日、南淡町阿万の自宅横の畑でミカンの花を訪れたミヤマカラスアゲハの♀を採集した。淡路島での記録は少ないと思うので報告しておきたい。



(ふじひら あきら)

2月にアミメカゲロウを採集

堀 田 久³

アミメカゲロウ *Nacaura matsumurai* の成虫は、6月から11月にかけて照葉樹林内で見られる種であるが、筆者は2月に本種を採集したので報告しておく。

採集年月日 1997年2月16日 1頭

採集場所 洲本市安平町北谷

※採集した個体は、筆者宅の壁に静止していたものであるが、近くにカシとシイの樹林があるので、そこから飛来したものと思われる。

(ほりた ひさし)

津名町でラミーカミキリを採集

堀 田 久³

ラミーカミキリ *Paraglenea fortunei* は、淡路町や北淡町では近年個体数が多くなってきているが、筆者は津名町で本種を採集したので報告しておく。

採集年月日 1997年6月21日 1♂

採集場所 津名町長沢

(ほりた ひさし)

3 〒656 洲本市安平北谷 630

オジロサナエを採集

交 告 尚 史¹

1997年8月15日から18日まで淡路島で昆虫を採集し、下記のような成果を挙げた。このうちオジロサナエは、図鑑の記載によれば個体数の少ない珍しい種であり、淡路島についてみても、同種の発見は幼虫を含めてわずかに数例を数えるのみのようであるから、特記に値する収穫と思われる。これを採集した場所は、洲本市千草「みやたき市民の森」のまさに入口、公衆便所の前の草叢である。草叢の下は溪流でトンボの数は多いが、オジロサナエらしきものはその一匹のみであった。採集時刻は正午ごろ、空はよく晴れていた。

チョウ

- | | | |
|-----------|---|----------------------------|
| アサギマダラ | 1 | 17日 洲本市千草 みやたき市民の森 |
| オオチャバネセセリ | 1 | 17日 洲本市千草 みやたき市民の森入口(に至る道) |

トンボ

- | | | |
|-----------|----|----------------------|
| オジロサナエ | 1♀ | 17日 洲本市千草 みやたき市民の森入口 |
| キイトトンボ | 1 | 15日 洲本市厚浜 |
| アオモンイトトンボ | 1♂ | 18日 洲本市塩屋 |

甲虫

- | | | |
|------------|---|--------------------|
| ヨツスジトラカミキリ | 1 | 17日 洲本市千草 みやたき市民の森 |
|------------|---|--------------------|

なお、以上の採集品は、オジロサナエの同定をして下さった登日邦明氏にすべて寄贈した。

(こうけつ ひさし)

編 集 後 記

- ▽ 春先に発行の予定でしたが大幅に遅れてしまいました。
- ▽ 「オジロサナエを採集」の報文を寄稿いただいた交告氏は、神奈川大学の助教授(法学が専門)で、奥様が淡路島の出身とのことです。
- ▽ 次号は原稿が集まり次第発行します。どしどしご寄稿下さい。(TB)

PARNASSIUS No.45

1997年9月2日印刷 1997年9月5日発行
編集者 登日邦明 発行所 淡路昆虫研究会
〒656 21 兵庫県津名郡津名町大町畑235
郵便振替 01170-3-49591

印刷所 れいめい社

〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24

ISSN 0013-788X

1988